癒しの島で紡ぐ物語

小豆島 特集

瀬戸内海に浮かぶ香川県小豆島。海と緑と島固有の風土…そのすべてが映画のワンシーンのように美しい。それは数々の映画の舞台としてスクリーンに映し出されてきたことからもわかる。空と海が青く輝く夏から、山が色づき日本の原風景が際立つ秋。小豆島の魅力がひと際輝くシーズンがやってくる。京阪神からもほど近い癒しのリゾート地・小豆島をめぐって自分だけの物語を紡ぎたい。

小豆島を代表する人気スポット、天使の散歩道（エンジェルロード）

女性や若者の人気続く

女子旅や若いグループ客で賑わう小豆島。島特有の風光明媚な景観と、のどかな漁村や棚田と里山など懐かしさを感じさせる固有の風土は、映画やドラマの舞台として頻繁に取りあげられ、その光景はテレビコマーシャルとしてもよく目にする。

島を代表する観光スポットである二十四の瞳映画村を中心としたマスコミへの情報発信力が様々なメディアに登場する一因になっているのはもちろんだが、エンジェルロード（天使の散歩道）や寒霞渓といった小豆島ならではの観光資源をはじめ、醤油、そうめん、オリーブといった食の魅力を含む島の文化全体がメディアをひきつける要素になっているのは間違いない。

情報発信の拠点でもある二十四の瞳映画村

商品化助成もありツアー増

旅行会社の商品化も近年増えている。フェリーの割引といった旅行商品化を後押しする特典もあり、関西からだとバスに乗って、ほどよい時間の船旅を楽しみ、島の食文化を味わい、風光明媚な風土を感じられるとあって、ツアーを造成しやすいという。

一昨年には香川県が旅行会社に向けて、関東以遠の「女子旅」を対象にした旅行商品助成事業を実施。大手・中小の約20の旅行会社が小豆島の商品を企画造成し、多くの送客を行った。

風光明媚な景色と島ならではの食、のどかな雰囲気が「女子旅」だけではなく、年輩のツアーにも好評ということで、小豆島人気は当分、おさまりそうにない。

大切な人へ思い届ける 天使のポストお目見え

エンジェルロード

土庄町・小豆島とのしょう観光協会は6月12日、〝恋人の聖地〟として知られる砂の道「エンジェルロード」近隣の公園に郵便ポスト「天使のポスト」を設置した。

「大切な人への思いを天使が届けてくれる」がコンセプト。観光客にも手紙を投函してもらい、同ロードと地域の魅力を世界に発信しようという考えだ。

「エンジェルロード」は、小豆島国際ホテル南側に隣接する弁天島から中余島、小余島などへとつながる砂州が1日2回現れる。縁結びや幸福にご利益があるとしてカップルなど個人客を中心に人気を集めている。

ポストは通常とは異なる白を基調に、ハートが描かれ、コンセプトにあわせて「天使の羽」が側面にあしらわれた特殊なもので、日本郵便の協力を得て作られた。

郵便物の集荷は1日1回10時ごろ。エンジェルロードを紹介するオリジナル切手シートも販売されている。

「エンジェルロード」の観光スポット化は、幸せを祈願する絵馬なども販売されるなど、今回のように地域を上げて展開。同ロードに一番近い宿泊施設である小豆島国際ホテルでも、人気の高まりによる個人需要増に対応するため食事処を新設したり、昨年にはカフェもオープンさせるなど盛り上げを図っている。

日本郵便の協力を得て今年6月に設置